



被災地に元気を

## 日ハムが日高の子ども達を招待

10月10日、北海道日本ハムファイターズによる平成30年北海道胆振東部地震復興支援企画として、日高町、厚真町、安平町、むかわ町の方たちが札幌ドームで行われる千葉ロッテマリーンズ戦に招待され、日高町からは門別地区の小学生とその保護者合わせ、416名が参加しました。

この企画は被災地の一日も早い復興を祈念するとともに、今もなお不便な生活を強いられている方々に安らぎのひとつを提供させていただきたいとの趣旨で球団からご提案いただいたものです。参加した方たちは、選手の迫力のある素晴らしいプレーに大いに興奮し楽しいひと時を過ごしました。



科学の不思議を体験

## 厚賀小学校で移動理科教室

10月4日、厚賀小学校で北海道立教育研究所付属理科教育センターによる移動理科教室が行われ、午前、午後の2部に分かれ全学年が科学の不思議を体験しました。

午後の部では、液体窒素を使った実験が行われ、液体窒素による $-196^{\circ}\text{C}$ の世界を体験しました。また、グラウンドでの水ロケットを飛ばす実験では、先生のヒントを参考に、どうしたら遠くまでロケットを飛ばすことができるかを真剣に考え、取り組む姿が見られました。



団体・個人から700点超の展示作品

## 日高地区町民文化祭開催

10月27日、28日、日高総合体育館及び町民センターで第13回日高地区町民文化祭が開催されました。日高小学校・日高高校を含め陶芸、写真など700点を超える展示作品が出品され、28日には日高地区で移住体験中の台湾人の許麗華さんによる中国茶道の体験や国立日高青少年自然の家による缶バッチづくり体験も行われました。

夜には芸能発表会が開催され、日高地区出身のプロの太鼓演奏家 熊谷傳次郎さんと日高高校生による勇壮な撥さばきに170名を超える観客から大きな拍手と歓声がおくられました。



秋の味覚を堪能

## 道の駅で「秋の味覚フェア」開催

10月14日、道の駅樹海ロード日高で日高「秋の味覚フェア」が開催されました。

ヤマベの唐揚げや天むす、地元で採れた秋野菜、地元食材等を使ったお好み焼き、タコをふんだんに使ったタコおこわ、また、日高近海の海産物販売など、日高の旬の味覚を楽しもうと、町内外より約1,500名が訪れました。

札幌市から訪れたご夫婦は、「毎年来ています。ヤマベの天むすなど、ここでしか味わえないので、いつも楽しみにしています。」と、話されていました。



## うさっぷスポーツクラブ主催 スポーツ講習会を開催

10月30日、日高総合体育館で、総合型地域スポーツクラブ「うさっぷスポーツクラブ」主催によるスポーツ講習会が開催され、各少年団と保護者や指導者など41人が参加し、日本体育協会認定アスレチックトレーナーの工藤貴彦氏(エスポラーダ北海道トレーナー)から、成長期に必要なコーディネーショントレーニングについて学びました。

現代の子どもたちは「転ぶ時に手をつけない」、「足首が曲がらない」など、生活様式や遊びの変化により子どもの体に様々な異変が生じているという話を踏まえ、神経の働きが最も伸びる5歳から12歳までにいるような動きを身につけておくことが、技能や運動能力を高めるために必要だということを学びました。

参加者は普段やっていた運動が間違ったフォームで行っていたと気づかされたり、正しいフォームがより効果的なトレーニングに結びつくことなどを学び、今後のスポーツ活動に結びつけることができるよう真剣な眼差しで参加していました。



日高将棋クラブ

## わいわい将棋まつり開催

11月4日、富川公会堂で日高将棋クラブによる、小・中学生から大人まで一緒に対戦ができる「わいわい将棋まつり」が開催されました。

会場には10名の子どもが訪れ、クラブ会員からルールや駒の動かし方などを教えてもらったり、こども同士のほか、大人と対戦するなどして将棋を思いっきり楽しんでいました。



ホッカイドウ競馬主催

## 元プロ野球選手による「野球教室」開催

11月1日、ホッカイドウ競馬による地域のスポーツ振興事業の一環として、元プロ野球選手で現在道新スポーツ野球評論家の稲田直人氏による「野球教室」が門別総合市民センターで開催されました。

当日は町内の野球少年団から30名が参加し、キャッチボールやバッティングについて指導を受けました。

また、教室前には北海道胆振東部地震により被災した子どもたちのために野球ボールが贈呈されました。